

令和元年度策定 城山校区社協行動計画書

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み	行動計画
笑顔と思いやりあふれるみんなが集うまち「城山」	高齢者が生きがいを感じ元気で暮らせるまちづくり	高齢者に関する事	認知症対策	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者が増えてきている 認知症を抱える家族が集まる場所が必要 認知症対策の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症についての学習が必要 当事者やその家族が集まる場所があればいい 	<p>居場所づくりをすることで、見守りができ孤独解消を図る皆で認知症について考え、地域で支え合う大切さを広める</p> <p>認知症対策（住民、ささえりあ、福祉課）</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症に関する学習会（認知症サポーター養成研修など） 認知症カフェの手伝い <p>見守り、居場所づくり（住民、民生委員、自治会、市社協）</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい・いきいきサロンの充実 近所への声かけ
			見守り、居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしが増えているため高齢者の見守りが必要 住民同士の繋がりが必要 集いの場や居場所づくりが必要 ふれあい・いきいきサロンへの参加が増えない 	<ul style="list-style-type: none"> 今あるものを活用し内容を工夫する 喫茶店のようなコーヒーを飲む集まりにする 集まるための声かけを行う 	
			買い物、移動手段	<ul style="list-style-type: none"> 店まで歩いて行けるが荷物を持って歩けない 歩ける範囲に店がない 運転免許返納すれば買い物や病院に行けなくなる サロンやグランドゴルフに行きづらくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 移動販売や配達など企業に協力を求める 乗り合いタクシーの検討をする 	
	の地域のみんなと育つまちはあふれ、子どもが	子ども子育てに関する事	あいさつ見守り交通安全	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時の見守り、声かけを継続する 人口増加に伴い交通量の増加 スクールゾーンの設置希望 危険箇所の周知（用水路等も含む） 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の散歩を登下校時に合わせて行う 大人から積極的に声をかけ子どもに顔を覚えてもらう 自治会や交通安全協会などの見守りを継続する 大人も学ぶ交通安全教室 	<p>子どもの見守りを通して、世代間交流を図る遊びを通して、子育てに協力し合える関係を築く</p> <p>あいさつ、見守り、交通安全（住民、老人会、交通安全協会、防犯協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> 登下校時の見守り 交通ルールのマナー教室 <p>小学生を対象とした交流事業の開催 伝承遊び、公園清掃活動、危険箇所探イベント など</p>
			遊び場、交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢間交流の場がほしい 子どもが参加できるイベントを企画する 遊び場が少ない 団体競技の場がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> PTA（もっこす会）の協力を得て伝承遊びを復活させる 親子参加できる交流の場をつくる（公園の整備など） 避難経路や危険箇所探イベントの計画 子ども食堂、地域食堂の開催 	
			教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境を整える 子どもの自主性を向上させるにはどうするのか 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り塾（育成クラブの延長の場所） 	
	まちづくりを超えてつながり支えあう	暮らし・人とのつながり	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 住民同士があいさつをする習慣があればいい 	<ul style="list-style-type: none"> 町内ごとであいさつ運動を行う（自宅前でのあいさつ） 	<p>住民の健康維持・向上を目指す暮らしやすい、住みやすい環境を整える住民同士の交流を図り人材の確保に努める</p> <p>健康づくり（体協、青少協、自治会、ささえりあ、市保健子ども課、市社協）</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の健康維持、体力向上を行う 世代間交流を図り支え合う <p>人材育成（自治協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> 同年代間の交流を図る お互いさまの精神を根付かせる <p>相談体制づくり（住民、民生委員、ささえりあ、熊本市社協）</p>
			ごみや環境課題交通課題	<ul style="list-style-type: none"> ごみステーションの環境問題、犬のフン問題 交通マナーの周知（車、自転車、歩行者など） 	<ul style="list-style-type: none"> ごみステーションをきれいに保つ 環境パトロールをする 	
			人材不足、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事でのマンパワー不足 地域役員候補者の確保 同世代（若い世代）の交流の場が少ない 住民同士の繋がりが希薄になった 	<ul style="list-style-type: none"> 誰でもできることを当番制にして人材を確保する 町内ごとのイベントを校区で開催し住民交流を図る 	
			健康寿命	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や若年層の健康診断受診者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり、体力づくりイベントの実施継続 世代間交流を図り生きがいをみつける 健康や医療に関する講演会の開催 	
			相談窓口の充実	<ul style="list-style-type: none"> 悩みや心配ごとを相談する場がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 実態調査（ニーズ調査）を行い把握することが大切 	
	体制づくりに備え助け合う	災害に関する事	名簿の整理、情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者名簿と実際が違う 情報伝達を早く正確に行うためにはどうする 情報共有を図るためにはどうする 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者名簿をもとに町内独自の名簿を作成する 情報の伝達役割分担を確認しておく 	<p>災害時要援護者の情報を共有し災害時に活用できるよう整備する町内ごとのハザードマップをつくり、避難経路や避難場所を明確にする</p> <p>災害時要援護者名簿、情報共有（自治会、民生委員、熊本市社協）</p> <ul style="list-style-type: none"> 要援護者の名簿を整理し情報共有を図る <p>危険箇所の確認や避難先等の周知を行う（自治会、消防団、市総務企画課、市社協）</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内ごとの防災訓練、災害時の避難方法などの周知
危険箇所の確認、周知			<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所を確認し周知する（住民への意識付け） 	<ul style="list-style-type: none"> 町内ごとのハザードマップを作成する 		
避難先、避難方法			<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の避難準備システムづくり 避難場所の確認徹底（水害、地震など災害の種類で避難先が変わる） 要援護者の避難手段の徹底（個々の避難手段を決める） 	<ul style="list-style-type: none"> 住民同士の行動支援を確認する 高齢者の避難準備システムづくり 		